

令和7年度 第2回三田市障害福祉審議会

| | |
|-----------------|---|
| 開催の日時 | 令和8年3月23日（月）11時40分～12時10分 |
| 開催の場所 | 三田市総合福祉保健センター 2階 講座室 |
| 出席委員 | 10名 津田会長、満原副会長、椿委員、増田委員、梅迫委員 高橋委員、藤田委員、岡本委員、長田委員、谷野委員 |
| 欠席委員 | 3名（山口委員、石本委員、南里委員） |
| 出席した事務局職員の職及び氏名 | 健康福祉部：外岡健康福祉部長、鶴健康福祉部次長、増田障害福祉課長、萩原障害福祉課副課長、尾崎障害福祉課係長、久保障害福祉課係長、山根障害福祉課係長、西村障害福祉課職員 学校教育部：市原教育支援課長 |
| 傍聴者の人数 | 1人 |
| 議題 | (1) 第6次三田市障害者福祉基本計画の中間評価に向けて |
| 公開・非公開の区分 | 公開 |
| 連絡先 | 健康福祉部 障害福祉課 電話：079-559-5075 FAX:079-562-1294 |

会議次第

- 1 開会
- 2 報告・確認事項
(1) 第6次三田市障害者福祉基本計画の中間評価に向けて
- 3 その他
- 4 閉会

審議経過

1 開会

配布資料の確認等

2 報告・確認事項

(会長)

それでは、第6次三田市障害者福祉基本計画の中間評価に向けて、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料1、別紙1・2説明（第6次三田市障害者福祉基本計画の中間評価に向けて）

(会長)

ありがとうございました。それでは今の説明に対して、ご意見やご質問をお願いします。

(委員)

別紙2の8ページ目、問16「あなたは、障害や特性があることで差別を受けたり嫌な思いをしたことがありますか」の付問3が追加になっていて、「3年前と比べて」という表記があるが、回答者にとっては3年前と比べてと言われても分からないと思います。

3年前と比べて増えたか減ったかが大事な問題なのか、今現在嫌な思いをしているということが大事なのかによると思います。比較の質問はあまり意味がないかと思いましたが、入れる理由があるのかをお聞きしたいです。

(会長)

それでは、まず事務局から設問の意図の説明をお願いします。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。事務局としても今現在、差別や嫌な思いをすることがあるのかどうかは、一番大事だと思っており、そこは付問1・2や問16で把握したいと思っています。ただ、これまでの経過を見てもこの質問項目での回答がなかなか減っていない状況ですが、一方で学校現場や障害福祉課、きいてネットでも色々な施策を進めている状況であるため、その効果が現れているのかどうかを、経年の比較として測りたいと思い質問を追加しました。

(会長)

昔に比べて差別的な事象が減っているのかを数値で示せたらよいということですが、聞き方と聞く意味の2つの問題があると思います。聞く意味については説明がありましたが、どう聞くかという点について、どなたかいいアイデアはないでしょうか。

(委員)

質問の意図としては、中間評価のため3年前と比べてどうかという設定なのだと思うが、付問1・2で今現在差別を受けたり嫌な思いをしたことがあるか聞いているので、それが以前に比べて良くなっているか悪くなっているか、という質問でもよいかと思いました。

(会長)

実は最初の事務局案が「以前と比べて」という漠然とした聞き方で、事前打ち合わせのときに、以前と比べてとはどう考えたらいいか、と質問したため、3年前という言葉が入りました。「以前と比べて」という方がわかりやすいのであれば、その方がいいと思いますが、皆さんどうでしょうか。

(委員)

何か一つの項目なら「以前と比べて」の意味があるかもしれないですが、数が違う場合もあります、同じ項目でもひどくなっている場合もあると思うので、質問側の意図しているものと答える側の意図しているものが合うのかな、と思います。

数がどうかというよりも、以前にも嫌な思いをした方が今現在もどんな場面であっても嫌な思いをしている、ということが大事だと思います。具体的にどういうことかはこの中で書いてあるので、回数がどうかを把握するのはそんなに大事なことなのかな、という気がします。逆に質問された側が、「以前と比べて」だと答えにくいのではないかと、思います。昔と比べて増えたか減ったかはこちら側は知りたいことですが、差別されている側は今差別されていることが問題だと思うので、以前と比べてどうかは聞かなくてもよいかと思いました。

(会長)

ありがとうございます。今のご指摘では回数が答えにくいという点も含んでいるかと思いますが、例えば「ひどくなっている、ましになっている」という聞き方ならどうでしょうか。それでも意味がなかったり、答え方に苦勞するでしょうか。

(委員)

同じ項目を選ぶとも限らないと思います。例えば以前は「進学するときや学校において」を選んだが、今回はそれはないけれど他のものがある、という場合に、前と比べてひどくなっているかどうか、は答え方が分かれてくると思います。質問の意図するとおりに、答える方が考えられるのかが分かりません。

(会長)

なるほど、ありがとうございます。ということは、場面や内容については複数ありえるし、ライフイベントなどの関係で状況も変化していきだろうと。そうすると、付問1の前で、「よくある」などのすぐ下に、「その状況は以前と比べて、ましになっている、変わらない、ひどくなっている」という聞き方なら少し整理されますか。

少し論点が整理されてきたと思いますので、この質問が必要かどうかの精査、付問3の位置がここでいいのかどうか、回数が変わっていますか、という聞き方でいいのかどうか、この論点について事務局で再検討いただくことでよろしいでしょうか。

(委員)

はい、いいと思います。

(会長)

ほかにはいかがでしょうか。

(委員)

アンケートの3ページ、問7の障害支援区分が何なのかが分からなくて、答えようがないと思ったのですが、皆さん当然ご存知なのでしょうか。

(会長)

事務局お願いします。

(事務局)

障害支援区分というのは、障害サービスの介護給付を使うにあたって必要な区分になっています。

(会長)

認定を受けてないという項目もあるので、このままでもよいかと思いますが、どなたか意見はありますか。

(事務局)

委員のご指摘のように、認定を受けてない方はそもそもこれが何なのか分からない方もいらっしゃると思いますので、問7の下に障害支援区分についての説明を付けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

少なくとも説明は付けていただきたいです。私自身、認定を受けているか受けてないのかも知らないで、これが何なのか説明があればありがたいです。

(会長)

認定を受けていない、分からない、という書き方もあるかもしれませんね。

(委員)

アンケートの設問の設け方についてですが、回答する方の年齢はどこに書いていますか。

(会長)

問3でありますね。

(委員)

これは例えば、12歳とか具体的に書かせるということですよ。アンケートのお願いのところには、対象者の方の意見を聞いて代わりに書いてもいい、とありますが、代わりに書いた方のことはどこで把握していますか。対象者が、11歳や12歳でも、書かれた方が違う場合はどうなりますか。

(会長)

書かれた方が何歳かというのは問題にしてないですね。あなたというのは障害のあるご本人のことなので、ご本人の年齢となりますが、ご質問の意図は、代わりに書いた方の情報も必要なのではないか、ということでしょうか。

(委員)

それと、例えば本人が答えられない場合には、保護者の方が代わりに聞いて答えたりするが、そうするとお父さんやお母さんの意見が出てくると思う。代筆したお父さんやお母さんの意見だということがわかればいいですが、15歳の方の意見になるのか、どこかでそれが分かるのでしょうか。

(会長)

事務局お願いします。

(事務局)

回答者の属性は問1で確認しますが、年齢までは確認していません。12歳の子どものことを保護者が代わりに答えたという状況は把握しますが、回答者の年代によって回答が変わることは想定していないため、問1で回答者の属性のみを確認しています。

(委員)

代筆の取扱い、分析には配慮をお願いします。

(会長)

ありがとうございます。アンケートを取るときには、この種の質問は悩ましいところですね。本人の意思がきちんと反映されるように、どういう風に回答してもらうかが悩ましいですが、なかなか切り札になるような質問項目が作れないなと感じています。

今の件も含めて、ほかにはいかがでしょうか。

(委員)

問16ですが、ひとつずつ聞いた方がいいのかなと思いました。例えば、問16で「よくある」に丸をして、付問1では1、3、5の場面に丸をしたとして、2、4、6の場面で「ときどきある」場合にはどういう風に回答したらよいのかと思ったので、それぞれの場面について「1. よくある、2. ときどきある、3. あまりない、4. まったくない」の項目を付ける方が分かりやすいかと思いました。

(会長)

これは、3年前の調査と同じ項目設定にしてある、ということですよ。他の変更が可能かどうかということも含めて、事務局からお願いします。

(事務局)

すみません、委員のご指摘の内容に理解が追いつかなかったのですが。

(会長)

付門1の内容を最初にして、「進学するときや学校において」など選択項目のそれぞれについて「1. よくある、2. ときどきある、3. あまりない、4. まったくない」という設定にした方が、はっきりと課題が見つかるのではないか、という質問だったと思います。

(事務局)

ご指摘の趣旨は分かりました。今回は中間アンケートということもあり、できるだけ当初アンケートと同じ聞き方で状況を把握したいと思っています。次回の当初アンケートに向けての検討課題とさせていただきたいと思っています。

(会長)

委員のおっしゃたことはとても大事だと思います。差別を受ける場面がより明確になっていくと、対策が立てやすくなると思います。今後の課題ということでお願いします。それでは、ほかはいかがでしょうか。

ないようでしたら、そろそろ終わりにしたいと思います。4月にアンケートを送る予定とのことなので、ほかに何かあるようでしたら3月中に事務局に連絡をお願いします。それでは以上が議題となっておりますので、事務局にお返しします。

3 その他

4 閉会

(事務局)

会長と委員の皆様には、前回の会議から引き続いて長時間にわたってご協議いただき、ありがとうございました。以上をもって令和7年度第2回三田市障害福祉審議会を閉会させていただきます。

今回委員の方からいただいたご意見については、事務局と会長で相談しながら改善をしていきたいと考えています。次回は、令和8年8月から9月の障害福祉審議会で、今回のアンケートの結果をご報告いたしますので、よろしく願いいたします。それではこれをもって審議会を閉会いたします。皆様、どうもお疲れ様でございました。